

ユネスコ創造都市ネットワーク  
メンバーシップモニタリングレポート  
2022年2月

評価表

2022/12/19 評価結果和訳版

背景

加盟都市は、認定年から4年毎にメンバーシップモニタリングレポートをユネスコに提出することが求められています。各報告書は、所属分野の加盟都市に提出され、評価されます。各報告書の評価プロセスは、参加性を高め、プロセスを最適化するために、望ましい作業方法を共同で決定し、分野内で実施されます。この評価表を使用した各報告書の要約版統合評価は、このプロセスの後に事務局へ提出されます。

対象期間	2017-2021
報告都市	映画分野加盟都市
	映画
被評価都市	山形市

※ 5段階評価の和訳表記は以下の通り

Poor・・・不可

Fair・・・可

Good・・・良

Very Good・・・優

Excellent・・・秀

## 全般的な参加状況

### 1. ネットワーク活動への参加度:

 不可 可 良 優 秀

コメント: [最大英語200語]

映画創造都市である山形市は、UCCNや映画サブネットワークの取り組みに参加し、特に国際レベルでの他都市との連携に非常に積極的です。

過去4年間に、UCCN年次総会に1回以上参加したか？(注：第14回年次総会は、新型コロナウイルス感染症拡大により延期されました。これにより、年次総会の最新の会議は2019年のファブリアーノで開催されたものとなります。)

 あり なし

ありの場合、参加年

2018 - クラクフとカトヴィツェ (ポーランド)

2019 - ファブリアーノ (イタリア)

2020 - サントス (ブラジル) ※ 新型コロナウイルス感染症拡大により延期

2021 - サントス (ブラジル) ※ 新型コロナウイルス感染症拡大により延期

※ 山形市は2021年に開催された2日間のオンラインミーティング「ユネスコ創造都市：新型コロナウイルスからのより良い回復への道のり」に参加し、世界の良い事例を学びました。

### 2. 年次総会または分野会議の開催 (予定)

 あり なし

ありの場合、開催年と会議名称

-

### 3. 多数のUCCN加盟都市が参加する創造都市関係の国際会議の開催実績

 あり なし

ありの場合、開催年、会議名称と全体講評[最大英語300語]

やまがた創造都市国際会議（2017、2018、2020（配信）、2021）という映画産業とその発展、および都市的側面や持続可能な開発との関係性に関する課題について議論する国際会議を毎年開催しています。このイベントを通じて、イタリアのボローニャ（音楽都市）、イギリスのブラッドフォード（映画都市）、韓国のプサン（映画都市）、日本の鶴岡市（食文化都市）、スペインのバリャドリード（映画都市）など、多くの都市と交流を図りました。

#### 4. その他特記事項: [最大英語200語]

山形市は認定以来、年次総会、サブネットワーク活動、評価プロセスなど、ネットワークの活動に積極的に取り組んできました。同時に、やまがた創造都市国際会議などの大規模なイベントを開催し、国際的な活動を率先して行ってきました。2017年に青島（映画都市）で行われた「2005年東北アジアにおける文化表現の多様性の保護及び促進に関する条約会議」、2018年に大邱（音楽都市）で行われた「2018グローバル創造都市フォーラム」、2019年にボローニャ大学（音楽都市）で行われた「日本万華鏡」に参加し、また、アデレード（音楽都市）で開催された「アジア太平洋クリエイティブ会議」、2019年・2020年・2021年のプサンインターシティ映画祭（映画都市）、2019年の青島映画テレビ博覧会（映画都市）、2021年に名古屋市（デザイン都市）・鶴岡市（食文化都市）と連携しSDGs映画祭（名古屋）にも参加しました。また、山形市は、新加盟都市の申請評価を4件、モニタリングレポートの評価に4件参加しました。

### UCCN目標の実施状況（本報告書の対象期間に基づいて）

#### 5. 実施された取組の規模は主に：（地域レベル、国レベル、国際レベル）の中から複数選択

地域レベル

国レベル

国際レベル

#### 6. UCCN目標達成に向けて地域レベルで実施された取組の質・量

不可

可

良

優

秀

#### 7. UCCN目標達成に向けて都市間連携により実施された取組の質・量

不可

可

良

優

秀

8. 加盟分野における市の相対的な強み [最大英語200語]

山形市は、「子ども映画教室」や「クリエイティブカフェ」などのプログラムを通じて、地元の才能を支援するとともに、市民がメディアを活用できる能力を身につけることに力を入れています。世界の多くの都市と強いつながりを持ち、様々なクリエイティブなテーマ（食文化、音楽など）と映画のコラボレーションを強化する試みを行っています。また、子どもたちや若い世代に向けた様々な取り組みを展開すると共に、特に国際的に、強い制作意欲を持つプロジェクトを積極的に行い、映画産業への支援や、若者や学生を含む地元の専門家やスキルある人々の協力を得て、地域をロケ地としても活用しています。

9. 加盟分野における市の相対的な弱み [最大英語200語]

特に加盟分野における市の相対的な弱みはありませんでしたが、さらに国レベルでの取り組みを実施した方がより良いと考えます。

10. 報告対象期間中に実施された加盟分野における取組のうち、優良又は特筆すべきもの。 [最大英語200語]

- ・やまがた創造都市国際会議によるUCCN内での交流促進
- ・映像で山形ルネッサンス、やまがた映画パッケージto the worldによる異文化の推進
- ・山形フィルム・コミッションによる、映画産業の強化と創造的な地域経済の発展を目指した取り組み
- ・子ども映画教室による新世代の観客の参与と映画リテラシーの向上
- ・山形国際ドキュメンタリー映画祭（YIDFF）と山形ドキュメンタリー・フィルム・ライブラリーによる、ドキュメンタリーの映画的言語の追求
- ・やまがた・アーティスト・イン・レジデンスによる新しい才能の発掘と育成

11. その他特記事項: [最大英語200語]

山形市は、映画によってSDGsを達成するために、地域や国際レベルで様々な有意義な取り組み/プロジェクトを行っており、特に目標4、5、8、9、10、11、17に対して力を注いでいます。

## 今後4年間の活動計画について（本報告書の対象期間に基づいて）

12. 今後4年間の活動計画の質

不可 可 良 優 秀

13. 今後4年間の活動計画のUCCN目的との関連性

不可 可 良 優 秀

14. 本活動計画は市の文化創造的資源および過去の活動計画と整合的か？

不可 可 良 優 秀

15. その他特記事項（提案された取組の国連2030アジェンダへの貢献）：[最大英語200語]

山形市が提案する様々なプロジェクトは、創造的分野における起業と雇用創出の促進、創造的生活へのアクセスと参画の拡充、活気ある施設の創出、社会的包摂の促進、魅力的で特色のあるコミュニティの育成、災害に強い建物の建設、誰もが利用できる市民会館の実現など、SDGsの4、5、8、9、10、11、17に貢献するものです。特に、山形市創造都市拠点形成事業「Q1」は、創造的・文化的産業の拠点となるインフラを市内に整備し、UCCNの理念に基づき、山形市の創造都市としての具体的な取り組みと姿勢を示す物であり、山形市が国連アジェンダ2030のSDGsを戦略の中心に据え、その達成に大きく貢献できるものと考えます。

## 報告書の質

16. 構成と文章は明瞭か？

不可 可 良 優 秀

17. 報告書はガイドラインに則っているか？

不可 可 良 優 秀

18. 報告書の分量は適切か？

短い 適当 長い

19. その他特記事項: [最大英語200語]

この報告書は際立って優れており、市の達成度、計画、目標を適切に示すための有意義な情報が盛り込まれています。山形市の全体的な戦略を理解するのに役立つデータ（影響に関するデータを含む）と焦点がまとめられています。レイアウトも素晴らしく、UCCNのガイドラインが遵守されています。

## 新型コロナウイルス感染症に関する対応事例

20. 新型コロナウイルス感染症拡大を受けて、市が行った具体的な政策／プロジェクト／取り組みはあるか？

あり

なし

21. ありの場合、実施された取り組みのうち優良又は特筆すべきもの: [最大英語200語]

多くの都市と同様に、山形市も新型コロナウイルス感染症に対し、山形国際ドキュメンタリー映画祭2021のオンライン化、やまがた創造都市国際会議2020のオンライン配信、オンライン映画学校など、多くの取り組みをオンラインで行い、大きな成功を取っています。また、山形のプロオーケストラを救うためのクラウドファンディング「音楽でまちを元気に」のプロジェクトも印象的です。

22. これらの取り組みが新型コロナ感染症拡大がもたらした課題に対する市の総体的な取り組みにどの程度貢献したか、その質と量：

不可

可

良

優

秀

23. その他特記事項: [最大英語200語]

山形市は、困難は状況に対処し、市の努力により、新型コロナ感染症を克服しました。具体的には、新型コロナ感染症に対する市の対応により、さまざまなレベルで連携が強化されました。まず、地域レベルでは、官民のパートナーシップ、若者の参加、市民の文化生活へのアクセスと参加、寄付、温かいメッセージ、音楽と映画がもたらす喜びと創造性の力による地域社会の支援などがあります。そして、国際レベルでは、新型コロナ感染症に対応する映画産業の現状について情報を共有し、困難を克服し、知識とベストプラクティスを共有し、都市間の国際協力を強化し、観客に映画と創造性が持続可能な都市開発の推進力となることを実感してもらえようような取り組みを行いました。最終的には、市は文化の多様性を促進し、より柔軟に人々を団結させる方法を学びました。

## 総合評価

不可

可

良

優

秀

コメント／助言: [最大英語500語]

映画創造都市である山形市は、UCCNの目標を非常に効果的かつ整合性のある方法で実践しており、特に、視聴覚・映画分野において、商品・サービスの創造、生産、流通、普及の発展を行いました。全てにおいて都市やコミュニティの側面をリンクさせ、新しい世代に焦点をおきながら、常に議論、知識、比較を重視してきました。持続可能な発展に関する問題への取り組みは明らかであり、その取り組みの中で創造性が果たす役割をも明らかにしています。ドキュメンタリーのような言語の充実は、大きな強みです。山形市は連携を重視しており、特にアジア太平洋地域において、UCCNの価値を伝え、様々なパートナーシップやコラボレーションを進めています。創造拠点の設立は、山形市の戦略的方向性を証明するものであり、文化生活への市民のアクセスと参加、意識改革と技能の向上、創造的な人々のための新しい機会の創出、映画産業におけるイノベーションのために、より一層尽力する方向性を示しており、映像作家のアーティストインレジデンスを通じて新しい才能に注目したことによっても証明されています。最終的な判断は非常に好意的で、映画創造都市である山形市がUCCN映画分野において重要な存在であると確認されました。ささやかな要望としては、国の創造的なアイデンティティを強化するために、国レベルでの活動を強化することがより望ましいです。